

別紙様式

組織評価の改善状況報告書

平成28年 3月31日

評価会議議長 殿

農 学 部 長

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成27年度の改善状況を報告します。

要改善事項
農業の持続的発展を可能とする総合的な人間形成の方策が十分に提示されていない。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
学科改組に伴う教育カリキュラム検討委員会で議論し、農学を総合的に俯瞰できるよう「農学基礎論」など5つの基礎的な講義を必須科目として加え、「実践農学演習」や「農山村デザイン演習」など農業の持続的発展を目指した講義を配置した。また、自由科目の認定単位数を生物資源科学科では20単位、応用生命科学科では12単位と大幅に増やし、他学部・他学科の専門科目の受講を促している。
改善状況
改善済み
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
将来を担う人材育成のためのカリキュラム（林業も）
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
学科改組に伴う教育カリキュラム検討委員会で議論し、人材育成のためのカリキュラムである「食と農の哲学」や「技術者倫理」など共通的なカリキュラムを設定するとともに、生物資源科学科では各コース個別に、応用生命科学科でも別個に設置した。
改善状況
改善済み
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
リーダーシップ・主体的・積極的な行動力の向上
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科カリキュラムにおいて、農山村デザイン演習、木質科学専攻演習、環境フィールドワーク、海外フィールドワークなど、学生一人一人の能力・志向に合わせたリーダーシップや、デザイン能力の涵養を意識した授業を計画した。
改善状況
改善済み
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
語学力のさらなる向上・海外留学生数の増などの国際化
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科カリキュラムにおいて、「科学英語」や「実用科学英語」など語学力向上のための講義を設定した。
改善状況
改善済み。
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
資格取得の奨励
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科改組に際して、現状の資格取得に関しては、ほぼ旧学科の資格を継続して取得できるよう申請した。特に二級・木造建築士受験資格については講義科目を調整し、実務経験なしで受験資格を得られるようにした。
改善状況
改善済み。
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
アドミッションポリシーの再定義
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科改組に伴い、カリキュラムや育てる人材像を変更する必要があるため、平成28年度中にアドミッションポリシーを再定義する。
改善状況
学科改組を含む農学部全般の教育改革についての議論を続けており、新設される教育カリキュラム委員会において平成28年度中に再定義を行う計画である。
達成年度（予定を含む）

平成28年度

要改善事項

女性教員。女性指導者の数を増やす努力の継続

要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）

平成27年4月1日付で農学部6人目となる女性教員を採用した。

改善状況

改善済み。

達成年度（予定を含む）

平成27年度

要改善事項

環境森林科学専攻の充足率の低さ

要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）

教育カリキュラム委員会で学部教育の改革の議論と平行し、大学院教育について議論し、専攻の充足率の問題を改組も含めて検討する。

改善状況

新学科改組に伴って修士課程を含む農学部全体の教育改革の議論を開始している。学部レベルでは環境森林科学科と共生バイオサイエンス学科を中心とした生物資源科学科へ改組した。今後の大学院改革の議論と併せて検討する。

達成年度（予定を含む）

平成28年度

要改善事項

学生アンケートの回答率の低さ 農学部独自のアンケート

要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）

真に必要な授業改善、カリキュラム改善に結びつくようなアンケートの内容、方式を検討していく。最終的には新カリキュラム内のPDCAサイクルの一環としてアンケートを位置づけ、今よりも実効性のあるアンケートを実施する。

改善状況

学科改組に伴い、授業改善、カリキュラム改善などの農学部独自のアンケートを経時的に実施する予定である。さらに新学科アンケートも並行して実施し、学科の改善に利用する予定である。

達成年度（予定を含む）

平成28年度

要改善事項
教員の質の向上に積極的に取り組む
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新カリキュラム内のPDCAサイクルの一環として、今よりも実効性のあるアンケートを実施するため、FD活動も包括した新たな委員会として教育カリキュラム委員会を設置し、教員の質の向上に積極的に取り組むこととした。
改善状況
改善済み
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
メンタルヘルスへの能動的対応の強化
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科改組に伴い、これまで各学科1名であったクラス担任を、生物資源科学科では4名、応用生命科学科では2名に増員し、手厚くメンタルケアできる体制を整えた。
改善状況
改善済み
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
HPの訪問数の減少 改善工夫
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
HPの意義を評価・広報委員会で再確認し、平成28年3月に、ニーズに即した情報を提供できるようHPをリニューアルし、スマートフォンからも閲覧が可能なレスポンシブウェブデザインを採用した。
改善状況
改善済み。
達成年度（予定を含む）
平成27年度

要改善事項
自習スペース・ラウンジの拡充
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
現在、農学棟を改築中であり、新棟が完成した段階で自習スペース・ラウンジは拡充される。
改善状況
農学部改築に伴い、自習スペースやラウンジが拡充されている。現在建設中のⅢ期の農学棟（講義棟）が平成28年8月に竣工予定であり、更に拡充される予定である。
達成年度（予定を含む）

平成28年度

要改善事項

授業アンケート結果 学生の主体的な学習への意欲の喚起面での評価が低い点 CAP制で変化の把握が必要

要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）

新学科カリキュラムにおいて、農山村デザイン演習、木質科学専攻演習、環境フィールドワーク、海外フィールドワークなど、学生一人一人の能力・志向に合わせたリーダーシップや、デザイン能力の涵養を意識し、「学生の主体的な学習意欲を喚起する」授業を計画した。

改善状況

改善済み

達成年度（予定を含む）

平成27年度